

# アカメヤナギ

●所在地／中山町出淵大矢 ●所有者／大矢地区

ヤナギ科。この木は明神池の島に 10 数株群生していて、最大のものの幹周は胸高 190cm、樹高 15m である。

アカメヤナギは日当たりのよい湿地を好む高木で、大枝が横に広がりやすく、葉は他のヤナギ類に比べて広いのでマルバヤナギの別名がある。また春の新芽や若葉のときは赤褐色、若枝も紫色を帯びていることからアカメヤナギと名付けられた。

この地区に伝わる伝説によると、昔、近くにある「おいけ」とこの明神池の間を大蛇が行き来することを恐れた人々が池に弁天様を祭り、一升の木綿針を入れて退治し、ヤナギを植えてご神木としたという。

